


なんということでしょうか... もう3月になってしまいました。  
2月って... ありましたっけ?? というくらい、光の速さで過ぎ  
去って行ったように思え、恐ろしいです。普段から涙もろいの  
ですが、3月は、3月、ただで、もう、涙腺がゆるんでしま  
いそうです。別れ、旅立ち、区切り... 色々なことが特に  
押し寄せてくる今年はいつになく心がザワザワとしてい  
ます。小学校卒業を迎える長男、&幼稚園卒園を迎える  
娘。「3月のおたより」を見ただけで、「あ、これが最後にな  
るんだ...」と胸が一杯になってしまい、果たして私は  
卒園式などちゃんと参加できるんだろうか、とすら思ってい  
ます。自転車の後ろに乗せておしゃべりしながら送り迎  
えする時ももうすぐ終わり。同じような感傷を6年前も  
3年前も味わいました。1人でも自転車であちこち行くよう  
になった長男は今や、毎日のように同級生と公園へ遊  
びに行きます。今だに無邪気に遊ぶ仲間たちの様子は  
微笑ましながらも、既に声変わりしてる子もチラホラ。  
来月には学ラン着てるんだね。あと数週間間のうちに  
桜も咲きますね。先日牧師がメッセージの中で桜について  
触れていました。桜が咲くのはたった1週間、その他の51週  
は花は咲いていなくても1日も休むことなく花を咲かせる準  
備をしているのだ、と。私たちもそのように、花を咲かす姿を、  
実を結ぶ姿を思いつつ主に忠実に仕えていきたい、と。本当にその通り  
だな、と思いつつ、この子らはどんな花を咲かせるのだろう、ということに  
思いを馳せるととてもワクワクします。花が咲かないように思えてヤキ  
モキしたり落ち込むこともあるかもしれませんが。しかし神様はその子  
にしか咲かせられない花をきっと咲かせて下さいます。親は何も  
できないことにイラ立つこともあるだろうけれど、水をやったり日に当てたり  
愛でてあげ、神様に委ね期待する者でありたいです。 ロバ子 

ま  
き  
ば  
で  
ひ  
と  
や  
す  
み

